

などに検査基準を設けているがこの認証を受けた製品か。



ペレットストーブ

**答弁** ペレットストーブの導入は県内機種を参考に決めた。協会の検査基準の認証は受けていないが、安全性については十分配慮されている。

**栄北小学校長の懲戒免職処分について**

**質問** 栄北小学校長が同校教職員のお金を盗んだとして懲戒免職処分になったが、盗んだお金について返済と謝罪があったことから刑事事件としなかった。子どもたちに「お金を盗んでも返せばいいんだ」というメッセージを与えたのではないか。

**答弁** 被害を受けた教職員全員が被害届を提出しなかった。三条警察署の事情聴取にも同様の対応だった。教育委員会として二度とこのような非行行為を起さぬよう指導の徹底を図る。

**がん対策について**

**質問** 胃がん撲滅のため、ヒロリ菌検診を導入してはどうか。

**答弁** 市民の基本的対策はまずは国から対応することであり、国の動向を注視していきたい。

**質問** 学校でがん教育を推進してはどうか。

**答弁** がん予防を学習している。学習指導要領にのっとり指導する。

**スポーツを通じた新たな観光交流について**

**質問** 施策の現状と取り組みはどうか。

**答弁** 各種事業を実施している。スポーツビジョン策定に向け、検討している。スポーツ宣言都市5周年記念スポーツアレイを下田地区で計画している。

**質問** 新たな観光交流の取り組みはどうか。

**答弁** スポーツ団体と観光団体が連携することで効果を期待している。八十里越など豊かな自然を活用した登山やトレッキングで情報発信したい。

**食の安全・安心について**

**質問** 食品に含まれる放射性物質の新基準の対応はどうか。

**災害時に備えて**

**質問** 避難所運営ゲームの活用を考えてはどうか。消防団員の命を守る教育はどうか。

**答弁** 避難所運営に関しての理解に有効なゲームと期待する。まず職員に実施し、地域の研修会等に導入を検討してきたい。災害現場において一人も犠牲者を出さぬよう訓練研修を実施する。

**公営住宅の集会所について**

**質問** 公営住宅の集会所を整備して利用の拡大を図ってはどうか。

**答弁** スマートウエルネス三条を目指し中で、公営住宅の集会所を生かすことは大事な観点である。集会所を活用した介護予防、地域の方々を交えた交流の場づくりは心身の健康づくりにつながる。環境整備を含め検討したい。

**地域基盤の確立と地域経済の再活性化について**

**質問** 貿易立国日本の貿易収支は31年ぶりに赤字に転落した。新潟港の利用拡大は製造品出荷額等からも燕市も加え5市町で連携して進めるべき。外務省のODA関連事業と三条産品を組み合わせ海外への販路拡大はできないか。

**答弁** 国内基準で一般食品100ペクレル、飲料水10ペクレル、乳幼児用食品50ペクレルと相当安全サイドに振り切った形で進められている。国、県の動向を注視して対応したい。

**生活保護施策の現状と課題について**

**質問** 「生活保護」が必要な人に行き届いているか。自立に向けた施策はどうか。

**答弁** 三条市の保護率は5.55%（パーミル。人口10000人当たりの被保護者数）で、前年同期比較では全国的な傾向とは若干異なり微増で推移している。生活保護は本人申請が原則だが急迫保護につながる場合に備え関係機関と連携している。自立に向けた支援として支援プログラムを設定しての就労支援、就労への促進のボランティア体験などを行っている。

**除雪体制の現状と課題について**

**質問** 除雪体制の見直しを行ったが、課題は何か。

**答弁** 今年度は三条地区で迅速な対応を図るため、出動の判断を委託業者の自主判断とした。今後子ども通学路の安全確保を最優先として、学校、自治会等と連絡を取り充実していく。

**教育行政について**

**答弁** 新潟港の広域連携はオープンであり機会を見て燕市にも声を掛けていきたい。ODAと三条産品の関わりについて外務省の説明会も開かれた。大変示唆に富んだ内容でありある効果が出てくることを期待している。

**質問** 小中一体校の建設は住民監査請求にまで発展、栄北小学校長の窃盗事件、教育行政は地に落ちた。この原因と責任対策をどう考えているのか。

**答弁** 栄北小学校長の事件発見後、教育長から進退伺が出されたが市長の判断で受けとれないと申し上げた。教育委員会事務局は一体となつて誠意をもって精いっぱい対応に努めた。

**質問** 武道必修について。

**答弁** 24年度から必修になる武道は8校で柔道、1校で剣道を予定。この指摘の事故防止が最も大切であり、指導内容、施設面で十分留意していく。

**がれき処理の説明責任について**

**質問** 大災害を経験した三条市民は、がれき処理が復旧・復興につながることを理解している。県知事が受け入れ慎重の中、三条市は受け入れ方針を固

**(仮称)布施谷川・新川排水路及び見喰川内水氾濫対策検討会について**

**質問** 布施谷川の氾濫対策の検討の見通しについて。

**答弁** 5月から6月にかけて初回の検討会を開催し、2年くらい検討する。ごきんごから段階的に検討をすすめていく。

**7・29豪雨災害復旧・豪雪災害関連について**

**質問** 被害箇所が膨大でさらに豪雪で復旧が遅れると思うが見通しと対策はどうか。

**答弁** 雪解けが2〜3週間遅れる予報だ。優先順位を決め復旧に努めている。

**質問** 県内で9団体が災害救助法の適用を受けた。三条市も死亡事故と家屋の倒壊が発生したが、法の適用申請を行ったか。

**答弁** 条件があり三条市の場合、該当せず申請していない。そういう事態になれば県が適用することになっている。

**県土地開発公社のあり方について**

**質問** 高度経済成長長期、地価が高騰し公共用地確保に対処する目的で設立された。地価が下落し続ける現在、活用する意義があるのか。解散の考えはないか。

**答弁** 塩分については1年経過する中問題はない。放射性セシウム1キログラムあたり100ペクレル以下を判断基準とし、この数値は一般廃棄物と変わらない範囲である。このことを市民に説明理解を求める。議員に対しても現地視察等計画し過程を経て受け入れを行いたい。

**7・29豪雨災害復旧・復興の取り組みについて**

**質問** 防災減災対策強化の中で検討委員会、新たな災害対策室設置とあるが、被災地の声をどう受け入れるのか。小規模災害の農業用施設10%負担は被災箇所を多く持つ集落の負担が大きいのをどう考えるか。



被害箇所の多い集落(4/6現在)

**答弁** 生誕120周年に当たり、遺品の展示や、少年の頃の思いを書いた随筆の配布などを検討中である。県立近代美術館において展示計画があるので、芸術鑑賞ツアー事業などを計画中である。



岩田正日作品「さえざり」

**答弁** 一定程度有効性はある。将来的に課題となるのではないか。

**平成24年度主要事業について**

**質問** 下田郷交流拠点整備事業は自立が課題と思う。検討は進んでいるか。大谷地和紙が50年ぶりに復活した。伝統技術の継承に値する。支援する考えはないか。

**答弁** 地域の活性化につなげたい。原案をまとめた25年春オープンを目指す。その技術実態に適した支援があると思う。取り組みを模索してきたい。

**名誉市民岩田正日氏の顕彰について**

**質問** 記念の年である来年は、催し物を考えているか。遺品を含め、広く作品を鑑賞してほしいか。